

「震災後の多様性社会における子ども支援」に関する研究

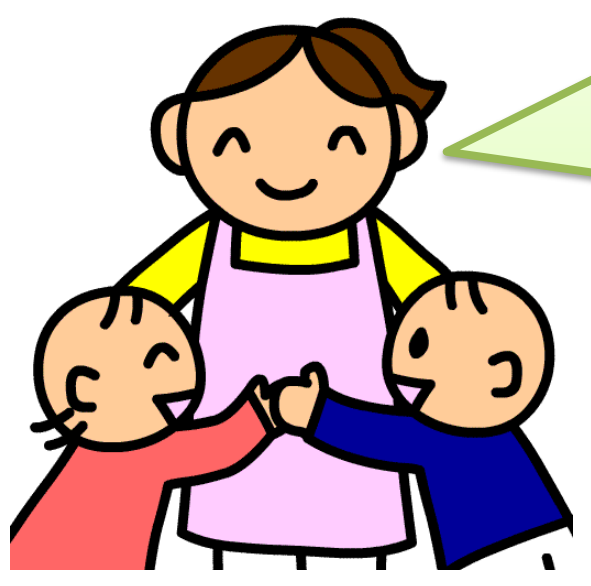
東日本大震災・
原子力災害
伝承館

研究員 鈴木美枝子

【経歴】博士(人間科学)。児童福祉施設保育士、特別支援学校および中学校教諭を経て、短期大学にて保育者養成課程の教授として勤務。同法人の大学においても兼任歴あり。現在に至る。
《連絡先》mk.suzuki@fipo.or.jp (質問・ご意見・ご感想など、お願い致します。)

1. 研究の背景

- 静岡県に生まれ育った。これまで、大規模な災害による直接的な被災経験はないが…
 - ・「東海大地震が来る」と言われ続け、50年以上が経過 ⇒小中学生が登下校でヘルメット着用
 - ・1995年:阪神淡路大震災⇒勤務先の学校で児童生徒の連絡網を確認し、「福祉避難所」に関する勉強会参加
 - ★転勤(浜松市⇒静岡市)したことで、防災意識の地域差を痛感
 - ・2011年:東日本大震災・原発事故⇒当時、居住していた地域(静岡市):比較的早期に生活の困難さは解消
- 日本の教育が「特殊教育」から「特別支援教育」へ転換したこと…
 - ・発達障害のある子どもの支援に着目⇒TEACCHプログラムの実態を学ぶためにノースカロライナ州へ視察
 - ★転職(静岡県⇒福島県いわき市) 保育者養成校の教員



保育者の言葉

「東日本大震災後、落ち着きのない子どもが増えて、発達障害児のような行動を示す子どもが多くなった…」

「多様性社会」とは、
国籍・文化・宗教・年齢・
性別・障害の有無・性的指向
など、さまざまな背景や
ニーズを持つ人々が
共に暮らす現在の日本社会
を指す！

2. 研究の目的・研究内容及び結果

多様性社会における防災教育と被災支援の在り方を明らかにする。特に発達障害を含む特別な教育的ニーズを持つ子どもや大人、支援者(保育者・教育者・保護者)が災害時及び復興過程において直面する課題を検討をし、知見を得る。

1. 東日本大震災避難による

「子どもの育て難さ」に関する研究

ーいわき市と静岡市の保育現場の現状の比較からー

(明治安田こころの健康財団助成事業 社会学・社会福祉学的研究分野:2017年度)

<研究内容>

(1)子どもの対人応答性について、いわき市と静岡市の年長児の比較

・日本版SRS-2(対人応答性尺度)を用いた結果、静岡市の重度群では全領域で高得点が多く、先天的特性による対人困難が示唆された。一方、いわき市では領域間にばらつきがあり、環境要因の影響が考えられた。

(2)震災当時の実態を把握するために保育士の語り

・震災による保育観の喪失を経て、保育者は制限された環境下で成長する子どもの姿から希望を見出し、保育観を再構築してきた。現在の「育て難さ」は、保育観の広がり示す重要な契機であると考えられる。

<成果報告>

明治安田こころの健康財団研究助成論文集『2017年度研究助成』通巻第53巻(pp137-146)

背景要因
を探る

2. 東日本大震災の生活環境崩壊による子どもの発達への影響とその支援

(科研費助成事業 基盤研究C:2019年4月-2025年3月/研究課題番号19K02964)

<研究内容と結果>

(1)子どもの発達について

- ・震災後のいわき市の子どもは、静岡市の子どもと比較して対人応答性の低下が確認された。
- ・特に5歳7か月以下の男児に顕著であり、生活環境や心理的ストレスの影響が示唆された。

(2)保育士・教員の心理的適応について

- ・保育士・教員は「被災者」と「専門職」の間で葛藤しつつも、使命感を支えに行動を選択した。
- ・放射線リスクへの対応や地域との連携を通じて、レジリエンスを発揮していた。

※「レジリエンス」とは、放射線量の測定・記録、保育環境の調整、保護者との対話を重ねながら、子どもの安全と安心を守り続けた実践的対応力を指す。

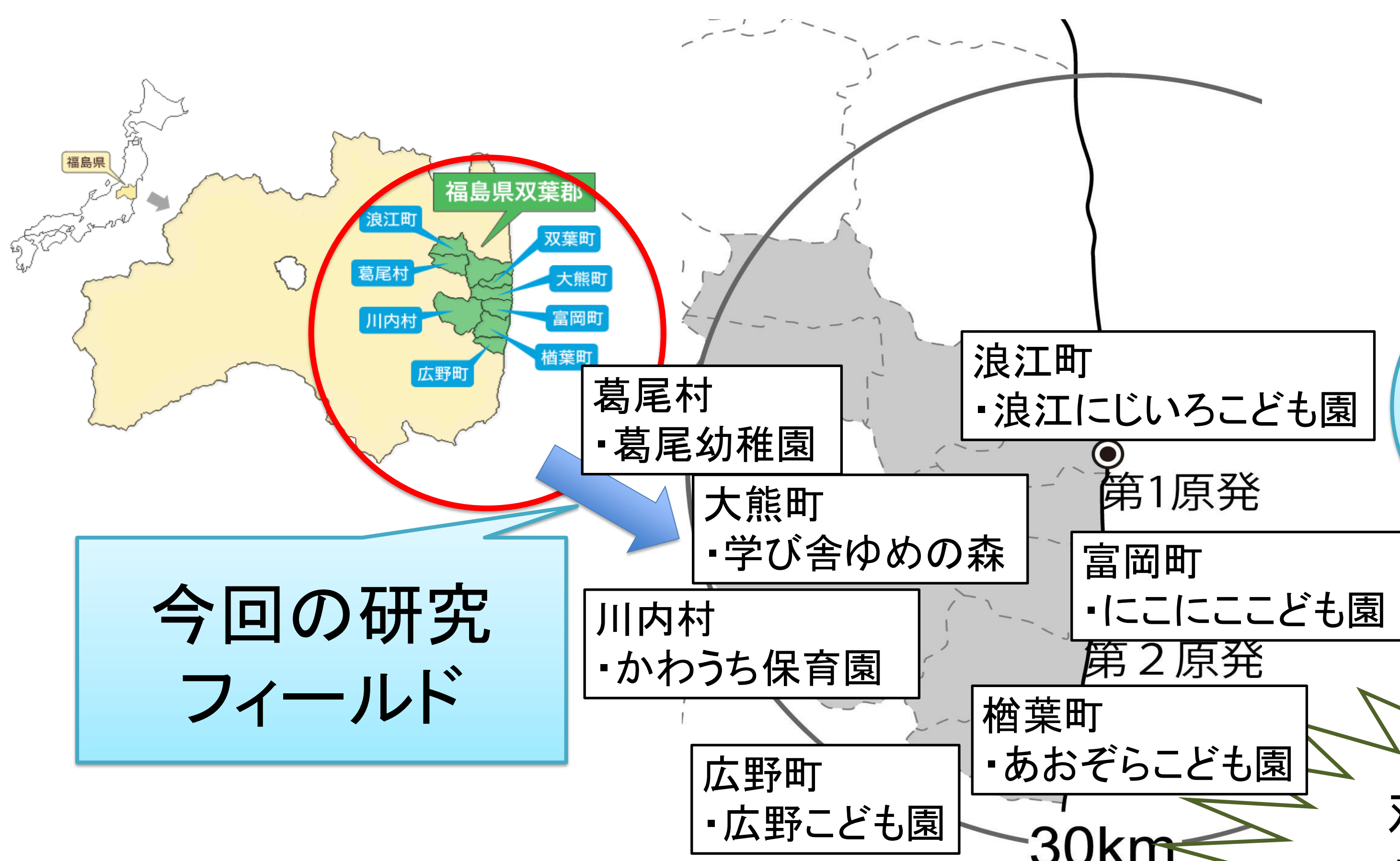
(3)保育園・小学校の役割について

- ・園や学校は、安心できる日常の場を提供し、家庭と連携して行動の変容を支える継続的な働きかけを行うことで、子どものレジリエンスを育んだ。

<成果報告>

- ・博士論文:「東日本大震災の被災生活が子どもの発達に与える影響に関する研究」(2025年3月 博士学位を取得)
- ・証言集:東日本大震災による子どもの発達への影響ーいわき市の保育者・教師の語りー(鳴海出版:2024年5月30日発行:ISBN:978-4-907952-41-9)

3. 本年度の取り組み



今回の研究
フィールド

《テーマ》.「原発事故による帰還困難区域解除の地域コミュニティの回復の現状と子どもの発達支援」の研究

R7年度(疫学的研究)

研究1:双葉郡の人口動態調査とその背景

研究2:子どもの発達の状況とその特徴

R8年度
保育者・保育環境
の研究

R9年度 発達支援 プログラムの研究

双葉郡は、帰還者・移住者(海外出身者を含む)が多様なライフスタイルで共に暮らす地域

【引用】
福島県双葉郡教育復興
ビジョン推進協議会
双葉について:
双葉の教育



Keywords: 多様性社会、防災教育、被災者支援、社会的弱者(乳幼児、障害児) 災害レジリエンス、教育的介入、地域共生、東日本大震災、原子力災害